

- ✔ もったいない大賞の受賞者発表
- ✔ 「グリーンウェイブ 2020」
- ✔ 事業活動報告、SEF からのお知らせ



トピックス

「第7回 食品産業もったいない大賞」の受賞者発表 農林水産大臣賞に石川県立翠星高等学校！

去る12月25日、(公財)食品等流通合理化促進機構は「第7回食品産業もったいない大賞」の受賞者を発表しました。この表彰は、食品産業の持続可能な発展に向けて2013年度に創設されました。環境対策の一環でもある「エネルギー・CO₂削減」、「廃棄量削減・再生利用」、「教育・普及」等の観点から、顕著な実績を挙げている食品関連事業者などを表彰しています。食品産業全体での地球温暖化・省エネルギー対策及び食品ロス削減等をより促進することが目的とされています。

農林水産大臣賞には『農業の未来を変える「廃棄果皮0(ゼロ)システム」の構築と普及』に取り組んだ石川県立翠星高等学校が選ばれました。他に、ウムヴェルトグループ、コープデリ生協連合会、キューピー(株)など、計9団体が選出されました。

表彰式及び受賞者による事例発表会は、令和2年2月6日(木)に千代田区立内幸町ホール(東京都千代田区)において開催されます。



詳しくは(公財)食品等流通合理化促進機構のホームページを参照ください。

<http://www.ofsi.or.jp/mottainai/0206no7/>

トピックス

国連生物多様性の10年「グリーンウェイブ 2020」3月1日から開始

国連が定める「国際生物多様性の日」(5月22日)に世界各地で植樹等を行うキャンペーン「グリーンウェイブ」。2007年からスタートし、国連の生物多様性条約事務局は各国への参加を呼び掛けていきました。日本では、農林水産省、国土交通省、環境省及び「国連生物多様性の10年日本委員会(UNDB-J)」が主唱者となっています。

今年は、3月1日から6月15日までの「グリーンウェイブ 2020」期間です。2020年は国連生物多様性の10年の最終年となることから、より多くの参加呼び掛けが1月17日からスタートしています。

森林や樹木等とのふれあいを通じ、生物多様性の理解や普及啓発につながるグループ・団体活動が対象です。私たちSEFも、毎年千葉県山武市の森で植樹祭を開催しています。



キャンペーンの概要や参加方法について、詳しくは林野庁のホームページを参照ください。

https://www.rinya.maff.go.jp/j/press/sanson_ryokka/200117.html

ゼロエミッション研究会 第4回勉強会を開催しました



企業の垣根を超えた共通課題の勉強会

2019年4月18日にキックオフした「2019年度ゼロエミッション研究会 実践で学ぶ！持続可能な食リループの作り方～仕組みづくりから認定取得まで～」。第4回目の勉強会を1月23日（木）「東京八重洲ホール」にて開催しました。

名古屋市での食品リサイクルループ参加者から（株）セブン&アイ・フードシステムズ様、トリドールホールディングス（株）様、（株）リンガーハット様、ワタミ（株）様の4社、また食品リサイクルについて学びを深めたいというオブザーバー参加としてアルガエナジー（株）様、日本マクドナルド（株）様の2社、計6社の環境部門担当者が集いました。それぞれの企業の垣根を超え、共通課題の解決に向けた勉強会を実施することができました。

東京農業大学名誉教授 牛久保明邦先生の講演

今回は、ゲストスピーカーに東京農業大学名誉教授で（一社）日本有機資源協会会長の牛久保明邦先生をお迎えしました。牛久保先生は、食料・農業・農村政策審議会総合食料分科会食品リサイクル小委員会の座長、また食品ロスの

削減に向けた検討会の座長を歴任されています。食品リサイクル法の制定から見直しまで深く関わっていらっしゃるスペシャリストです。

名古屋で構築した食品リサイクルループは、更なる拡大を目指しています。改めて取り組みの原点を確認するために「食品リサイクル法の検討から制定、見直しの経緯と今後について」というテーマで講演していただきました。

- 環境関連法令の歴史的変遷とその体系
- 食品リサイクル法制定の背景と改正・見直しの経緯と内容
- 食品廃棄物・食品ロスの現状と課題、そして食品ロス削減推進法の制定

これらを時系列に沿ってレクチャーしていただきました。その後、百瀬則子理事のファシリテーションによるディスカッションを行いました。



参加者様から好評でした

参加者からは「担当になってから勉強していたつもりだったが、まだまだ知らないことだらけだったことが気付けた良い機会になった」「非常に興味深く、時間が短く感じた。もっと詳しく聞きたいのでまた講演をお願いしたい」といった意見が上がるほどの有意義な時間となりました。



次回は3月18日（水）、本年度の研究会の成果報告会を東京八重洲ホール（東京駅そば）にて予定しております。メインの取り組みである名古屋地域での食品リサイクルループ構築成果の報告と、検討過程において浮かび上がった課題、解決策について検討していきます。専門家からのご意見も伺いながら、これからの食品リサイクルループのあり方について考えます。

成果報告会についての情報は、SEF ホームページにて随時更新します。ぜひご確認下さい。皆様のご参加をお待ちしております。

成果報告会についての情報は、SEF ホームページをご覧ください。

<https://save-earth.or.jp/archives/6254>

森林再生事業 活動報告

12月の活動報告(定例) ～山武の森(千葉県山武市)～

2019年秋の台風15号をはじめとする天災による被害の爪痕は深く、SEFが保全活動を行なう千葉県山武市の森林には、まだまだ数えきれないほどの風倒木が転がっています。

2019年最後の活動は、道路に面したエリアの風倒木の片づけを行いました。

このあたりは車の往来も多く、災害復旧の応急処置で丸太や木の枝などが道端に置かれた乱雑な状態になっていました。

4名のボランティア参加者の力を借りて、見栄えよく整理整頓することができました。

※この企画は公益社団法人国土緑化推進機構の「緑の募金」の支援を受けています。



森林再生事業 活動報告

12月14日 森林体験イベントを開催 ～あいち海上の森(愛知県瀬戸市)～

SEFでは、特別賛助会員企業のワタミグループと愛知県との3者で、県有林「あいち海上(かいしよ)の森」(愛知県瀬戸市)の森林保全協定の締結準備を進めています。

去る12月14日、そのキックオフイベントとして「森で自然とふれあう会」を開催。地域住民やワタミグループサポーターなど、37名に参加いただきました。

午前10時、「あいち海上の森センター」に集合。開会式の後、インタープリター酒井さんの案内で、協定締結予定の森に向かいました。今回の森のお手入れは、木を守り森に光を入れるための「つる切り」。約30分と短い時間でしたが、交流を深めながら作業を行いました。

そして午後は、取り除いた「つる」を材料に使ったクリスマスリースづくりに挑戦。「つる」に加え、赤い実や松ぼっくり、ヒイラギなど自然の恵みをふんだんに使った「森の手づくりクリスマスリース」を作りました。

保全協定の締結は2020年4月をめざし、準備を進めてまいります。SEFの森林再生事業の5地域目となる「あいち海上の森」での活動に、ぜひご期待ください。



2月・3月 森林保全活動 のお知らせ ボランティア 募集中!



SEFでは、各地域での森林保全活動をお手伝い頂けるボランティアさんを随時募集しています。

千葉県山武市では原則として毎月第2・第4土曜日（東京駅から送迎いたします！）に定例活動を行っているほか、兵庫県丹波市、大分県臼杵市でも定期的にも実施しています。直近の活動は下記を予定していますので、ぜひご参加ください。

<2月・3月の活動予定>

- 千葉県山武市
2月22日(土)、3月14日(土)、28日(土)
- 兵庫県丹波市
2月15日(土)、3月15日(日)
- 大分県臼杵市
3月7日(土)

※日程は変更となる可能性があります。

最新の情報はホームページを参照ください。 <https://goo.gl/uEt3CZ>



企業・団体向け 森林体験プログラム 「森活」のご案内

Let's do Morikatsu together!



SEF がご提案する「森活」とは、「森を活かす」こと。

“森”での“活”動を通して、社会貢献活動の一環としての取組みに、またチームの関係性の基盤づくりや強化に、さらにはリラックス・リフレッシュのための福利厚生など、様々な効果につなげることができると考えています。

フィールドとしてご用意するのは日向の森（千葉県山武市）。都心からおよそ90分の好アクセスで、企業・団体の皆様の「森活」をお手伝いします。

皆様のご要望に応じたメニューをご提案しますので、まずはお気軽に事務局までお問い合わせください。

「森活」ってどんなことをするの？

季節に応じて、様々なプログラムをご用意しています。



植樹



下草刈り



間伐



ツル切り・枝打ち



薪割り



森林散策



クラフト

